

令和元年度
第2回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会
会 議 録

令和元年10月
紀の川市企画部地域創生課



会 議 録

□会議の名称： 令和元年度第2回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会

□開催日時： 令和元年10月24日（木） 13時40分開会～14時40分閉会

□開催場所： 紀の川市役所 本庁舎5階 501会議室

□会議次第： 1. 開 会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 議 事
5. 報 告
6. そ の 他
7. 閉 会

□会議資料： ○配席図
○議案書（資料1、2、3合綴）
○別添資料

□会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）： 公 開

□傍聴人の数（公開した場合）： 1 人

□出席(欠席)委員： 別紙「出席者名簿」のとおり

□事務局： 事務局長（企画部長） 今城 崇光
事務局次長（地域創生課 課 長） 直田 武真
事務局員（地域創生課 班 長） 高月 良和
事務局員（地域創生課 副主査） 西川 昌克
事務局員（地域創生課 主 事） 井辺 将文

□会議録署名委員： （粉河地区区長会 会長） 中井 菊夫 委員
（桃山地区区長会 会長） 根来 信之 委員

□議事進行

1. 開 会

○直田事務局次長より会議の開会を宣言。

2. あいさつ

○林会長より挨拶。

3. 出席者紹介

○直田事務局次長より出席者、事務局の紹介。

4. 議 事

○高橋議長が、会議の成立要件に鑑み、有効に成立していることを確認する。

○高橋議長が、会議録署名委員（2名）を指名し、了承を得る。

【議案第1号】旅客自動車運送事業者部会の設置について

○高橋議長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書3ページ」により説明。

○高橋議長

意見・質疑を委員に求める。

○折居委員

地域住民の意見はどのように反映されていくのか。

○事務局

行政窓口や地域への説明会を通じて、地域の声を聞いていきたい。

○折居委員

地域への説明は、どのようなレベルで考えているか。

○事務局

自治区の区長からご要望をいただければ、都度説明をしていきたい。

○折居委員

各地区からの要望ということでいいか。

○事務局

地域公共交通の視点で言うと、1つ1つ、個人的な要望に応えるのは難しい。乗合の要素を満たすために、地区の意見を集約して要望をいただきたい。

○高橋議長

地域の声を聞く場を協議会として行ってきた。専門部会の設置は、より技術的、専門的な議論を深めていくことが念頭にある。

他、意見がなければ、採決したい。賛同いただけるようであれば、拍手をお願いしたい。

(意見・質疑等なし)

○高橋議長

拍手をもって承認の可否を確認。

(拍手多数)

○高橋議長

拍手多数と認め、第1号議案を承認する。

5. 報 告

【報告第1号】和歌山バス那賀(株)「路線バスの運行廃止について」

○高橋議長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書4ページ」により説明。

○高橋議長

意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

【報告第2号】地域公共交通網形成計画の取り組み状況について

○高橋議長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書5ページから7ページ（資料1、2）」により説明。

○高橋議長

意見・質疑を委員に求める。

○森川委員

モビリティ・マネジメントによる利用促進は、ぜひ進めてもらいたい。現場で話を聞く限り、「バスの利用に慣れていない」ことが、「バスを利用しない」理由になっていると考えられる。バスの乗り方教室など、地元の方々を巻き込んだ取り組みを考えていただきたい。

○事務局

ぜひ取り組んでいきたい。協力をお願いする。

○高橋議長

学生を対象とする中では、動画など最新のツールを使うことも考えていただきたい。学生の中には、本当に乗り方をわかっていない学生も多い。

○河原委員

来年4月から、JR 和歌山線、和歌山バス那賀の路線でもICカードが利用可能になる。使い方も含めて、情報発信を進めていただきたい。

○事務局

ICカードの利用促進については、2事業者の担当者とも協議をしている。また、高齢福祉課とも協働で使い方の周知に努めたいと考えている。

○折居委員

地域巡回バスについては、誰もが利用できるサービスになるように設計されている。高齢者は、短い距離を歩くことにも負担がかかる等、特有の問題を抱えている。そのような特徴に応じ、高齢者のための移動手段にする等、ターゲットを絞った考え方もあるのではないか。

○事務局

買い物や通院など、既存利用者の利用目的に合うように、ターゲットを絞った見直しを図っている。いただいた視点も今後の参考にさせていただく。

○折居委員

貴志駅には海外の来訪者が多い。その来訪者が打田や粉河まで訪れてこない。観光の視点も含め、効果が広がる取り組みを期待したい。

○事務局

今後の検討課題とする。

○高橋議長

その他、意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

【報告第3号】 改正後の地域巡回バス路線（案）について

○高橋議長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書8ページから9ページ（資料3および別添資料）」により説明。

○高橋議長

意見・質疑を委員に求める。

○河原委員

資料に「特区制度を活用した～」とある。基本的には、移動サービスについては、地域の運送事業者担っていたきたい。

○事務局

重々承知している。具体化するには、事業者と相談をしていきたい。

○高橋議長

実際に、養父市の例を見た印象もふまえ、特区制度を活用した運送は、最後の手段として考えるべきととらえている。

○高橋議長

その他、意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

6. その他

○事務局

議事録の署名について。

○麻生委員

貴志川線は、利用者が3年間で1割減少している。外国人観光客によって、賑わっているイメージがあるかもしれないが、実際には債務超過の状態が続いており、このままだと維持が厳しいと言わざるを得ない。地域の皆さんに状況を理解していただき、いま一度、利用や協力を図っていただきたい。

また、11月3日(日)には、今年度も貴志川線祭りを開催する。参加いただきたい。

○泉中委員

免許返納を求められているが、自動車は運転できないが、原付バイクは運転できる市民もいる。運転免許の返納は、すべて返納するだけではなく一部返納ということも可能。

一部返納の制度をもっと周知してほしい。

○森川委員

来年4月のICカードの導入にあたって、便利になると思う。ただ、磁気カードを廃止することをご理解いただきたい。

○高橋議長

私事であるが、来年度に海外への留学を予定している。それにあたり、会議への参画について、事務局と調整をしてくている。

○事務局

高橋先生の事情をふまえ、次回2月ごろの開催を予定している協議会において、委員職、副会長職について、高橋先生の解任と、後任として、本日傍聴人として出席いただいている山田先生

の就任を諮る方向で調整をしている。

○高橋議長

山田先生は、近畿大学和歌山キャンパスで勤務されている。また、専門も都市計画・建築計画ということで、紀の川市にとってより良い地域公共交通のあり方の検討や、円滑な協議会運営を期待している。

○高橋議長

その他、意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

7. 閉 会

以上、令和元年度第2回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和元年 11月 18日

会 長 林 信 良 

署名委員 根 来 信 之 

署名委員 中 井 菊 夫 

(参考) 出席者名簿

規約第4条に基づく 位置付け	所属	職名	氏名	備考
(1) 紀の川市の指名する者	紀の川市	副市長	林 信良	会長
	紀の川市農林商工部	部長	神徳 政幸	
	紀の川市建設部	道路河川課 課長	弓場 正己	代理出席
(2) 法第2条第2号に掲げる 公共交通事業者等及びその 組織する団体が推薦する者	和歌山バス那賀株式会 社	常務取締役支配人	森川 圭治	代理出席
	有田交通株式会社	運行管理・整備	浅井 英行	代理出席
	株式会社有交紀北	代表取締役	西脇 正宜	
	西日本旅客鉄道株式会 社	総務企画課長	奥 勝浩	代理出席
	和歌山電鐵株式会社	総務企画部長	麻生 剛史	代理出席
	公益社団法人和歌山県 バス協会	専務理事	森下 清司	
	一般社団法人和歌山県タ クシー協会	会長	川村 昌彦	
	和歌山県交通運輸産業 労働組合協議会	委員長	坂前 吉信	
(3) 住民又は利用者の代表	打田地区区長会	会長	久次米 英昭	
	粉河地区区長会	会長	中井 菊夫	
	那賀地区区長会	会長	折居 徳男	
	桃山地区区長会	会長	根来 信之	
	貴志川地区区長会	会長	岸本 俊延	
	紀の川市身体障害者連 盟	会長	泉中 條子	
(4) 近畿運輸局和歌山運輸 支局長又はその指名する者	和歌山運輸支局	首席運輸企画専門官	河原 正明	
	和歌山運輸支局	首席運輸企画専門官	森田 正志	
(5) 岩出警察署長又はその 指名する者	和歌山県警岩出署	警部	三毛 伸起	代理出席
(6) 道路管理者、学識経験 者その他の協議会が必要と 認める者	近畿大学経営学部	教授	高橋 愛典	副会長
	和歌山県企画部地域振 興局総合交通政策課	課長	長尾 尚佳	監査委員
	那賀振興局建設部	副部長	松本 功	
	岩出市総務部総務課	副課長	高井 克訓	代理出席 監査委員
ご欠席	紀の川市福祉部	福祉部長	橋本 好秀	
	和歌山河川国道事務所 和歌山国道維持出張所	所長	大田 隆英	